



書初め

バプテスト心身障害児(者)を守る会
愛の手を

第215号

発行責任者
 社会福祉法人 バプテスト心身
 障害児(者)を守る会
 重症心身障害施設 久山療育園
 重症児者医療療育センター
 理事長 宮崎 信義
 編集責任者 鍋山 泰三
 福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869
 ☎(092)976-2281
 FAX (092)976-2172

新年度を迎えるにあたり、御挨拶を申し上げます。

すでに詳細についてご報告しましたように、昨年11月16日、17日の2日間、第44回日本重症心身障害福祉協会西日本施設協議会総会を当センターと、柳川療育センター、北九州市立総合療育センター、障がい児者医療生活支援ホーム虹の家の4施設共同主催で開催しました。コロナ禍でオンライン開催が続いた期間が明けの久しぶりの対面開催となり、200名を超える参加がありました。内容についても好評をいただき、当施設としても十分な情報発信ができたのではないかと考えております。ご協力ありがとうございました。

昨年度は医局から野田先生が、また長く当施設に勤務していた吉本看護部長、山田療育指導室長がいずれも定年などで退職(退任)されました。一つの時代を作った方々であり、時代の流れを感じる出来事でした。そのほかにもやむを得ず退職された方がおられ、多くの利用者が別れを惜しみ、また残る職員も心からその貢

「新年度を迎えて」

献に感謝したところです。本来にありがとうございました。新年度は、新たな時代の幕開けとなります。職員一人ひとりが力を合わせて、久山療育園の明日を築いていかなければなりません。

さて、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が登場してから丸4年となります。昨年5月には、WHOが2020年1月以降発令していたCOVID-19の緊急事態宣言を解除しました。それに合わせてわが国でも、それまでの感染症法上の取り扱いを2類から5類へと引き下げが行われました。それとともに感染者数の全数把握から、インフルエンザと同様に約5000か所の定点把握へと舵が切られました。その後、いわゆる流行の波は、昨年9月の第9波と思われる増加、12月の第10波と思われる増加と、まさに波状に押し寄せてはいます。しかしながら、オミクロン株へと変異してからは重症化する症例は減少しました。感染力、免疫逃避力はまだまだ強いものの、その脅威はだいぶ縮減された感があります。当施設でもスタッフの散発的な感染は見られるものの、入所者にはほとんど感染者が発生しませんでした。しかしながら、福岡県内の他の重症心身障害施設では今年になってもまだクラスターが発生しており、なお油断できるレベルではないようです。それに代わって年が変わってすぐにインフルエンザの流行に襲われ、当セ

センター長 岩永知秋

センター長 岩永知秋
 含む、14名の職員が感染しました。COVID-19流行のためインフルエンザの流行が抑えられていたのが、久しぶりに顔を出した感じです。インフルエンザウイルスに対する免疫が低下していたことが、原因の一つに挙げられます。このシーズンのインフルエンザは、12月にA型で一つ、1月にB型でもう一つのピークを作るといふ、異例の流行パターンを示しました。

世界ではウクライナとロシアの戦争が2年となり、また昨年10月には中東ガザ地区でイスラエルとパレスチナ(ハマス)との新たな戦争が新たに始まりました。日本では年明け早々の元日に能登半島大地震が起り、多くの人々が被災されたのは記憶に新しいところです。コロナ禍は収束しつつありますが、日本も世界も、新たな試練の真ただ中にあります。この4月からは働き方改革がいよいよ始まりました。とりわけ、医師の超過勤務制限、トラック等ドライバリの連続勤務制限など、社会に与える影響が過大なものにならぬよう祈るばかりです。時代は音を立てて移り変わっていくことを実感する毎日ですが、この年度も久山療育園は質の良い重症心身障害医療と療育を目指して、努力を重ねてまいります。どうかご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

理念と展望

「法人・施設運営の骨子と方向性」

理事長 宮崎 信義

前号で述べましたが、2024年3月を期限として「事業継続計画（BCP）」が全ての障害福祉サービス等事業者を対象に策定が義務付けられています。その骨子は、「大規模災害への対応」、「新型コロナウイルス感染症の蔓延対策」等です。また、2017年度からの5年間の法人・施設の事業収支が赤字になっていきます。その主な要因は、「社会福祉充実残額の活用」と「新型コロナウイルス感染症対策」による事業の制限と対策費用と考えられます。新年度に際して、その要因の解析と考察から始め、久山療育園重症児者医療療育センターの創立理念の継承を再確認したいと思えます。

2024年度の課題と事業計画及び展望

2024年度の年間主題は「医療・療育・福祉の向上と合わせ、事業収支の健全化を目指す」と提案致しました。開園祭テーマは、「重症児（者）と共に継続可能な施設と社会

の実現」とつながって行きま。その内実は「生命の尊厳を再確認」を問い、生命の尊厳を再確認することです。2020年初頭からの新型コロナウイルス感染症の蔓延と、2022年2月24日のロシアによるウクライナ侵攻、さらには2023年以来パレスチナガザ地区での争いでも多くの方々の生命が奪われています。私達は「重症心身障害児（者）と共に」という理念と合言葉大切にしています。大規模感染や災害だけではなく、戦争でも小さく弱い者の生命が奪われていることを忘れてはいません。重症心身障害児（者）やご家族、そして共に在る支援者と職員の生命が守られることを祈り、また支援者として立てられていることに改めて確認したいと思えます。その基礎が創立時に示された設立理念ですから以下のように再確認したいと思えます。

久山療育園の設立理念の再確認

設立の目的から「重症心身

障害児に愛の手を」という精神で設立されました。「久山療育園は単なる収容施設ではなく、新しい福祉社会づくりの拠点である」と掲げられています。運営基本方針からこの働きは、「社会のただ中で障害児と共に生きようとするイエス・キリストの愛の証しである。従って久山療育園はキリストの福音を土台として運営されなければならない」と信仰が基盤とされています。

療育基本方針からは、「久山療育園は、病院であり学校であり家庭である」として、重症心身障害児（者）を技術論的にはなく全人的に受け止めること、最善の職協力を進めること、その専門的領域の働きを全うしなければならぬとの自覚を促されています。

「設立の目的」から社会福祉充実残額の活用が既に継承されている

社会福祉充実残額の活用は創立初期から「設立の目的」に掲げられ、以下のように継承されています。①在宅及び入所重症児者のニーズに聴く診療計画と実践の継続。②地域の中心に位置付けられることを願い、2015年に設立

された「在宅支援センター」への医療支援の実践へと継続しています。③「在宅支援センター」の働きから福祉共同体の実現、地域医療連携が新たな展開として図られています。

2017年度からは、社会福祉充実残額の使途について加えて計画したために、久山療育園では多くの支援者からの支えもあり、医療・療育・福祉の充実に収支均衡を越える多額の負担を実施したために、赤字決算となったものと考察しています。経営会議において、2022年度からは赤字を解消し収支の均衡を重視した運営がすすめられ、継続可能な計画を実現したいと確認しています。

感染症対策の継続

それでも尚、新型コロナウイルス感染症は終息せず、2023年度後期には全国的にインフルエンザの流行が起きました。2020年初頭からの新型コロナウイルス感染症対策の標準予防策で、他の感染症は減少傾向にありましたが、新型のインフルエンザウイルスやRSウイルス、咽頭結膜熱などの感染病原が増加した為と思われま。こ

れからも施設を挙げて感染対策を徹底する必要があります。

法人・施設運営の展望と事業継続計画（BCP）プロジェクト
①第1期（2022年～2023年）
BCP策定期（2024年度からの策定が義務化）

当センターの基本理念である創立理念の遵守と検証、危機の認識と役割の質的な向上を目指して参ります。本来の事業継続計画は、久山療育園の立地・特性・地域性役割と使命を包括し、原則に基づいた行動指針と認識しています。事業継続の基本は、健全な財政運営と各部署・職種の原価意識にあります。センター長も財政運営の健全化のために、「志は高く、経費は安く」の精神でご協力願いたいと言ってお下さいます。一般の事業体でも活用されている持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）の視点も視野に置いて参ります。

②第2期（2024年～2025年）…実践期。

危機管理からBCPの実践（事業の新展開へ。事業に関連した立地・特性・地域性の情報収集とBCPの進捗状況

の検証を継続して参ります。

③ 第Ⅲ期（2026年〜2027年）

2026年の創立50周年を覚えて、事業進捗状況の評価と事業の向上を目指し、新たな将来計画の策定を考慮中で

『ミットレーベン・ネットワーク』・保護者会・地域との協働

ミットレーベン・ネットワーク（旧バプテストコロニー友の会）は、1969年11月に結成され、2024年で55年目を迎えます。伴走する運動体としての事業に対する街頭募金や友の会会費からの支援金に感謝致します。街頭募金でのアピールでは、重症児福祉に関する啓蒙活動を実践しておられます。またボランティア活動の一貫した支援にも感謝しています。感染が終息したら、保護者会との対話（役員会や総会、全国重症心身障害児者を守る会への参加）を充実して行きたいと願っています。



病気のからだから人の
第19回

「久しぶりのインフルエンザ流行」

センター長／理事 岩 永 知 秋

■はじめに

2020年2月以降はしばらくインフルエンザの流行はなく、この間はCOVID-19、すなわち新型コロナウイルス感染症が席捲した時代であり、まさに恐怖の時代でした。感染症の逆襲という言葉があります。人類は抗生物質などの抗菌薬により感染症は征服した、との錯覚があったのかもしれない。そこに出現したCOVID-19は当初毒性も強く、人類も治療薬やワクチンのない状況で、昔のスペイン風邪やペストなどの時代に帰って、換気、手洗い、三密の回避など、物理的な予防手段しかない状況でした。その後コロナワクチンがゲームチェンジャーとして登場し、COVID-19自身も毒性が弱くなったため、小さな変異株（ドリフト）への変化で免疫回避力や感染性はまだ高いものの、重症化のリスクはかなり軽減されました。COVID-19流行

より以前は、季節性インフルエンザの流行は11月下旬ころがピークでした。しかし昨シーズン（2022〜2023シーズン）は、コロナ以前に比べれば流行の大きさは小さかったものの、2022年12月から始まった流行が夏になっても収束せず、今シーズン（2023〜2024シーズン）を迎えました。このように流行が収束しないまま次のシーズンに入るのは、現在の測定法に変わった1999年以降初めてだそうです。これまで日本では、沖縄以外で夏季にインフルエンザの発生や流行はほとんどなかったのです。

■今シーズン（2023〜2024シーズン）の久山療育園でインフルエンザ大流行

久山療育園重症児者医療療育センターでは、年初からひかり棟でインフルエンザのクラスターが生じ、利用者22名、スタッフ14名が罹患する状態

となりました。ひかり棟入所者での発生と拡大が職員ともども起こった形です。入所者のうち1名のかたは細菌性肺炎を合併し、酸素吸入を要する呼吸不全まで進みましたが、

幸い治療により回復が得られました。インフルエンザの怖いところは、このように二次的に細菌性肺炎を合併し重症化する点です。COVID-19はウイルス自体が肺炎を起こす（ウイルス性肺炎）のですが、二次性の細菌性肺炎の頻度は低く、この点がインフルエンザと異なる点です。一方、医療度の高いめぐみ棟はインフルエンザによる重症化がより懸念されましたが、今回は幸い難を逃れました。タミフル（オセルタミビル）の内服治療を行い、また発症が懸念される方には予防内服の対策を講じました。実は私もインフルエンザ罹患の14名スタッフの中に入り、10年ぶりくらいに39度の発熱のため自宅ですらなりながら寝ておりました。COVID-19も第10波に相当する流行が起こっています。今のところ当施設では職員の散発的感染報告はあるものの、利用者への感染はありません。

■例年とは違うインフルエンザ流行パターン

今シーズンの季節性インフルエンザは、従来とは異なる流行のパターンを示しています。昨年12月にA型流行でピークを迎えたのち一旦は減少したのですが、年明けから急増しており、その多くがB型に置き換わっています。このB型流行のピークにより、1シーズンで2つのピークを形成する異例の状況となっています。特に福岡県は警報レベル（定点当たり30人以上の感染者数）が続いており、全国で最多となりました。B型はA型に比較してあまり変異を示さないのが通常ですが、COVID-19流行のこの4年間B型は流行しませんでした。そのためほとんどの子どもは免疫を持っていません。2月初旬の患者の7割は15歳未満であり、学校では学級閉鎖や学年閉鎖が相次ぎました。

■インフルエンザの症状

最近のCOVID-19は起因株がオミクロン株に代わり、症状からはインフルエンザとの区別が難しくなりました。COVID-19は当初のデルタ株のとき、「数日から2週間の潜伏期で発症し、発熱や味覚・嗅覚異常を伴い、次第に呼吸

不全や肺炎を併発する」とさ
れました。しかしオミクロン株
(Ba.1 → Ba.2 → Ba.5 → BQ.1
→ XBB)では一部に重症化する
ことはあるものの、ワクチン
既接種もあり、「数日の潜伏期
で発症する発熱を伴う感冒様
症状」というように、インフ
ルエンザと類似してきました。

インフルエンザの典型的パ
ターンとしては1〜3日程度
の潜伏期の後、突然の高熱
、咽頭痛、頭痛、筋肉痛、倦怠
感などで始まります。その後
鼻汁、咳嗽などの呼吸器症状
があらわれ、消化器症状を伴
うこともあります。発熱は2
〜4日ほど持続しますが、乳
幼児や高齢者では典型的な
経過を示さないこともありま
す。成人のインフルエンザで
は肺炎が最も重要な合併症で
す。昨シーズン(2022〜
2023年シーズン)では全
体で0.82%、そのうち65〜79
歳で2.06%、80歳以上では
13.3%と報告されました。イ
ンフルエンザでは、高齢者で
の細菌性肺炎に要注意です。

■インフルエンザの診断

インフルエンザは、検査診
断、ワクチン予防、抗ウイル
ス薬治療、予防投与のすべて
が正式に承認されている唯一
の感染症とされます。検査診

断法としては、①迅速抗原検
査、②抗原定量検査、③拡散
検査、④血清抗体価、⑤ウ
イルス分離などがありますが、
一般的な医療機関で行われる
のは①の迅速抗原検査です。
キットの感度は80〜90%以上、
特異度は95%以上と高い診断
率を誇ります。ただし発症後
12時間以内あるいは発症5日
後は測定感度が低くなるので
注意が必要です。したがって、
症状が出現してから時間や
周囲の流行状況から、たとえ
検査結果が陰性でもインフル
エンザと総合的に判断して、
治療する場合もあります。ま
た、2023〜2024年シ
ーズン、ことに2023年
末から2024年年初にかけ
ては、COVID-19との同時
流行もあり、インフルエンザ
とCOVID-19を同時に検査
する抗原検査キットが活躍し
ました。

新しい検査法として、咽頭
画像によるインフルエンザ
AI判定法が登場しています。
これはインフルエンザが疑わ
れる患者さんの咽頭をカメラ
で撮影し、臨床所見と合わせ
てAI(人工知能)が判定す
るものです。2022年12月
より保険収載となりました。

■インフルエンザの治療

成人に対する治療について
述べます。インフルエンザは
元来自然治癒しうる予後良好
な病気です。欧米では従来か
ら、リスク因子のない健康成
人の軽症インフルエンザは、
抗インフルエンザ薬の投与の
対象とならず、重症化と死亡
率の低下に重きが置かれてき
ました。一方わが国では、軽
症を含むすべてのインフルエ
ンザ患者が治療の対象とされ
、発症後48時間以内に抗インフ
ルエンザ薬投与を行うことが
推奨されています。

抗インフルエンザ薬は大き
く2つに分けられます。従来
から使用されているノイラム
ニダーゼ阻害薬と、最近登場
したキャップ依存性エンドヌ
クレアーゼ阻害薬の2つです。
タミフル(経口薬)、リレン
ザ(吸入薬)、イナビル(吸入
薬)、ラピアクタ(注射薬)が
ノイラムニダーゼ阻害薬であ
り、ゾフルーザ(経口薬)が
キャップ依存性エンドヌクレ
アーゼ阻害薬です。それぞれ
に投与方法や回数(日数)な
どが異なり、個別の症例で使
い分けが行われます。よく用
いられるのはタミフルで、治
療目的では1回1カプセル、
1日2回の投与で5日間です。
また、予防目的で使用するタ

ミフルは1回1カプセル、1
日1回で7〜10日間の投与で
す。タミフルは重症化を防ぎ、
死亡率を低下させるというエ
ビデンスが確立されています。
ただし、薬剤耐性も見られる
ことから、その地域でのウイ
ルスの特性をしておく必要も
あります。

■インフルエンザの型と変異

インフルエンザウイルスの
表面には2種類のタンパク、
ヘムアグルチニン(HA)と
ノイラムニダーゼ(NA)が
あり、ウイルスの表面にとげ
の様に存在します。ヒトで
はHAが3種類(H1, H2,
H3)、NAが2種類(N1,
N2)あります。このHA
とNAの組合せにより亜型
がわかれます。A型にはこの
HAとNAの種類がB型と
比較して多いので、亜型の種
類も多くなります。H3N2、
H1N1など聞いたことが
あるでしょう。A型は毎年少
しずつ突然変異が起こるのに
対して、B型は変異を起し
にくいという違いがありま
す。またA型では亜型が数年
から数十年おきに変異し、大
きな変異があるときは大流行
をきたします。前世紀に人類
は3回大流行(パンデミック)
を経験しました。1918

年のスペイン風邪(H1N1)、
1957年のアジア風邪
(H2N2)、1968年の香港
風邪(H3N2)です。今世紀
に入り2009年の pandemic
H1N1(H1N1/09)は記憶に新し
いところです。さらにA型は
ヒト以外に鳥類などにも感染
しますが、B型はヒトのみで
す。ところで、A型とB型と
で症状には違いがあるのでし
ょうか。上記のような相違が
あるものの、インフルエンザ
の症状にはA型とB型とどほ
んど違いがありません。

■インフルエンザワクチン

流行期前に接種するインフ
ルエンザワクチンは2023
〜2024年シーズンの流行
分析などを参考にして、A型
株としてH3N2(A香港型)、
H1N1(pdm09)が、B
型株としてビクトリア系統と
山形系統とが選択されていま
す。つまり、今のワクチンに
は全部で4つのものが入って
いることとなります(4価ワ
クチン)。2015〜2016
年シーズンからB型を1系
統から2系統へと増やしたた
め、3価から4価を含むワク
チンへと変更されました。イ
ンフルエンザワクチンの発症
防止効果は約50%とされます。
COVID-19ワクチンに比較

すると低く見えますが、ワクチン接種の効果は接種した人だけではなく、接種していない周囲のインフルエンザ感染を低下させる（集団免疫）効果があるとされます。

■今後のインフルエンザ

トリインフルエンザは原則としてヒトには感染しないとされています。しかし、野生の鳥類のからだの中でウイルスの変異が起こり、ヒトに感染するようになるのができれば大きな脅威となります。実際、インフルエンザウイルスは数十年に一度、鳥やブタのウイルスと人のウイルスとが遺伝子の交雑を起こします（抗原不連続変異）。COVID-19のようなパンデミックとなると世界全体の大問題となります。専門家が慎重にモニタリングしていますが、私たちもCOVID-19で経験・獲得した感染症コントロールのノウハウを次世代に伝えていくことが大切だと思います。

■参考文献

最新のインフルエンザ診療、臨床と研究 100...2023
インフルエンザ診療ガイド 2023-2024 日本医事新報社、2023

「2023年度 第47回療育体験研究会報告」

(3月7日 地域交流ホール) 研修研究委員長/荒金 幸

2024年3月7日(木)、当センターの職員が集まり、「療育体験研究会発表会」が地域交流ホールにて開催されました。

今年度は、各部署より6演題の発表があり、座長はリハビリテーション課主任 川上敏美さんにお願ひしての療育体験研究会発表会でした。

発表した研究班メンバーは、この1年間、研究計画書の書き方や研究の進め方、検証の方法などのレクチャーを受けながら、日頃の臨床で感じることや考えていることをテーマにし、発表してくれました。

どの研究班も、日頃の業務を行いつつも、実践で行っていることを振り返り、専門性を高め自分たちの支援をよりよいものに、より効果のあるものにしたという思いからの発表であつたと感じました。

また、会場からもたくさんの方の質疑があり全体でのより良い学びの時間になったと思ひました。今年度の発表をきいて、探求することの面白さ、自分の行っている支援のエビデンスを検証する楽しさなどを感じて、次年度以降積極的に、療育

体験研修発表会に取り組むスタッフが増えていくことを願っております。

今年度、療育体験研究会発表会で発表した演題については、次年度の日本重症心身障害学会、重症心身障害療育学会、九州地区重症心身障害研究会へ対外発表への推薦が決まりましたので、各演題を更にブラッシュアップして各学会での発表も頑張ってきていただきたいと思います。

演題1 「重症心身障害者の介護負担感及び腋窩皮膚炎に対するボツリヌス療法」

入岡 陽平 他

症例は成人女性。GMFCSレベルV。大胸筋や上腕二頭筋の筋緊張亢進によって、更衣や体位変換時の介助負担感が強く、腋窩皮膚炎も呈している。この研究では、ボツリヌス療法(A型ボツリヌス毒素製剤注射以下BTX)とストレッチ訓練によって筋緊張を緩和し、介護負担感の軽減や腋窩皮膚炎の改善が得られるか検証。BTX後6週・12週で評価、腋窩皮膚炎は改善。合わせて介護負担感も改善。合わせて介護負担感も改善。重症心身障害者の強い筋緊張に対して、ボツリヌス療法(注射とストレッチ)を実施することにより筋緊張が緩和した。それによって肩が開きやすくなり、肘が伸びやすくなり、介護負担感の軽減及び腋窩皮膚炎の改善が得られた。

演題2 「個別支援計画を考へる」

個別支援計画研究班 山口 真一 他

病棟職員が個別支援計画の理解を深めることで、支援の向上につながることを目的に取り組みを行った。方法は、個別支援計画を作成する支援員全員を対象に勉強会を行い、勉強会の前後にアンケートを実施比較検討する。立案、実施、評価の項目で「難しいと思ひますか」の回答が改善。アンケート結果より勉強会の効果はあつたと考へる。今後多職種へも勉強会を広げること課題である。

演題3 「ホーム内業務における作業姿勢と身体負担の現状調査」

重症者ホーム研究班 陣内 晶子 他

ホーム内における身体的負担の大きい業務を抽出し、問題点を分析することで、効果的に負担軽減できることを目指す取り組み。方法は①身体的負担の大きい業務の抽出(職員アンケート)②長町式作業姿勢診断図による作業姿勢評価をおこなう。負担感の大きい介助動作を明確にし、介助時の身体的負担の大きい業



務とその要因を特定することでより効果的に介助環境設定と高さを意識した姿勢の工夫ができる。

演題4「家庭用低周波治療器の痙縮筋への影響」

リハビリテーション研究班

吉田 沙織 他

BTX治療後も「朝の足の出しづらさ」を訴える利用者に対して、安価で家庭に一般化しやすい家庭用低周波治療器での電気刺激療法を併用し、家庭用低周波治療器の効果検証と利用者のQOL改善を図りたいと考え取り組みを行った。①BTX治療のみ ②BTX治療+電気刺激療法とし、両側前脛骨筋に各10分間、強度10前後(20段階中で本人が不快に感じない範囲)で低周波を設定し、腓腹筋への相反抑制を図った。DKEとMAS、左側MTSの結果から、低周波による前脛骨筋の収縮に伴う相反抑制は、家庭用低周波治療器の使用においても認めることができたと考える。対象者からの継続希望も聞かれ、利用者のQOL改善を図ることができた。

演題5「薬の吸湿に影響を及ぼす包装材料・保管条件の調査」

薬の品質研究班

藤 壽美子 他

当センターの入所者の特性で服用薬は散剤が多い。また、調剤から服用終了迄の保管期間が長い為に、薬の品質へ影響する分包紙材質、環境(温度、相対湿度)について、経日重量の測定結果の考察と報告であり、分包された医薬品は外部環境の影響を受けるため、吸湿しにくいドライマツト分包紙を使用し、高温の保冷庫保存が望ましい。高温多湿の時期の保管には、防湿対策が必要であることを再認識した。

演題6「利用者・介助者共に楽しめる行事の提供を目指して」

保育研究班

山下 莉奈 他

利用者により好む刺激の種類や量、強さなどは異なる。行事では一人一人の好みに合わせた内容を準備することは難しいため、「視覚」「聴覚」「触覚」「嗅覚」を感じられる内容を提供しているが、実際に利用者に参加する介助者に意図が伝わらないこともあった。わかりやすく伝え利用者・介助者共に楽しめるような行事にす

るため工夫を行ってきたのでここに報告する。

行事では、一つのブースに様々な刺激を感じられるようにしていたが、実施回数を重ねる毎に利用者の反応を見るのとシンプルにした方がわかりやすく楽しみやすいことに気づいた。また、抽象的な刺激よりも具体的な刺激の方が利用者の反応が良く、楽しむ範囲をできるだけ一つのブースの空間だけまとめた方が良いことも分かった。行事内容について介助者が理解を深めるほど一緒にいる利用者はさらに楽しむことができると考え



メモ帳

【1月】

- ▽9日 福岡特別支援学校3学期始業式
- ▽12日 誕生会 経営会議
- ▽15日 託児所避難訓練、初動避難訓練
- ▽19日 2023年度第4回理事会
- ▽23日 久山町社会福祉法人連絡会(ランタナ)
- ▽27日 施設見学会

【2月】

- ▽9日~11日 認定看護師研修
- ▽15日 全体避難訓練、福岡県北部地区在宅重症児者連携会議・コア会議(4回目・Zoom)
- ▽16日 誕生会
- ▽19日 経営会議
- ▽29日 通所成人式、保護者会役員との懇談会・保護者会役員会

【3月】

- ▽1日 ひな祭り(喫茶活動)
- ▽4日 バプテスト社会福祉協議会理事会(Zoom)
- ▽7日 療育体験研究発表会
- ▽8日 福岡特別支援学校・高等部卒業式、2023年度第5回理事会
- ▽8日~10日 認定看護師研修
- ▽13日 中部消防署立ち入り調査、福岡特別支援学校・小学部卒業式
- ▽15日 誕生会
- ▽16日 第45回九州地区重症心身障害研究会
- ▽18日 経営会議
- ▽19日 福岡特別支援学校修了式
- ▽21日 託児所避難訓練、夜間避難訓練
- ▽22日 2023年度第2回評議員会

2024年度予算

2024年3月8日 2023年度第5回理事会にて2024年度予算が承認されました。
予算の概要については、以下の通りとなります。

2024年度 資金収支予算書

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日 (単位:千円)

科目名	2024年度 予算額 (A)	2023年度 予算額 (B)	増減 (A - B)
《事業活動による収支》			
(収入の部)			
児童福祉事業収入	3,962	3,976	△ 14
障害福祉サービス等事業収入	557,230	563,813	△ 6,583
医療事業収入	838,720	834,998	3,722
経常経費寄附金収入	20,780	19,457	1,323
受取利息配当金収入	1,501	1,229	272
その他の収入	6,198	6,679	△ 481
事業活動収入計①	1,428,391	1,430,152	△ 1,761
(支出の部)			
人件費支出	1,090,000	1,036,556	53,444
事業費支出	179,886	173,904	5,982
事務費支出	113,505	112,537	968
事業活動支出計②	1,383,391	1,322,997	60,394
事業活動資金収支差額③=①-②	45,000	107,155	△ 62,155
《施設整備等による収支》			
(収入の部)			
施設整備補助金収入	0	7,727	△ 7,727
施設整備等収入計④	0	7,727	△ 7,727
(支出の部)			
固定資産取得支出	65,500	19,882	45,618
施設整備等支出計⑤	65,500	19,882	45,618
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	△ 65,500	△ 12,155	△ 53,345
《その他の活動による収支》			
(収入の部)			
積立資産取崩収入	54,500	0	54,500
サービス区分間繰入金収入	79,073	28,900	50,173
その他の活動収入計⑦	133,573	28,900	104,673
(支出の部)			
積立資産積立支出	34,000	95,000	△ 61,000
サービス区分間繰入金支出	79,073	28,900	50,173
その他の活動支出計⑧	113,073	123,900	△ 10,827
その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	20,500	△ 95,000	115,500
予備費支出⑩	0	0	0
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	0	0	0
前期末支払資金残高⑫	460,996	460,996	0
当期末支払資金残高⑬+⑫	460,996	460,996	0

1.概況

2024年度は6年に一度の介護・障害・医療のトリプル改定となるが、診療報酬は+0.88%となり、初めて介護(+1.59%)・障害(+1.12%)の改定率が診療報酬の改定率を上回る結果となった。しかしプラスのほとんどは人件費(処遇改善)に充てられ実質的にはマイナス改定となる可能性が高い。物価高騰や政府が進める賃上げ機運のなか、人材確保のためには人件費の確保が必要であり、当法人の経営の厳しい状況は続いている。

今年度については、収入に関して経営会議の中で決定したりハビリの人材を増やし、脳リハIIから脳リハIの加算への変更を行い、年間1,200万の増収を図ることとした。人件費についても、人材の未補充分を予算化し、賞与については+0.15カ月増の年間4.30カ月にて予算化をし既存職員の処遇改善を図り、1人でも多くの働き人が確保できるよう取り組みを継続する。

事業費・事務費については、保健衛生費・教養娯楽費など活動が増える状況を想定し増額した。開園祭・運営協議会・クリスマス会なども通常開催を行う想定で予算化を行った。センター長の声掛けにより当センターのコロナの取り組みをまとめた冊子の発行も予算化した。また当センター建物が15年を経過したことから、今年度より計画的に予算を投下し改修を進めていく予定とした。まずは、①LED照明取替工事(2027年度末に直管蛍光灯の製造と輸出入が禁止とするため)②非常用放送設備更新(火災通報装置が導入より15年が経過)これらについては、中長期計画積立金を取り崩して使用する。

2.積立金について

当期資金収支差額分を基本財産減価償却積立金に積み立てる。

中長期計画使用分(5,450万円)の取崩しを行う。

3.事業活動計算書について

当期活動増減差額は、△5,000万円を見込んでいる。



病棟イベント

「鬼アツい節分アルヨ〜!!」

今年の鬼は一味違う!!
めぐみ棟には何とも可愛らしい「ギャル鬼」、ひかり棟にはクールな「チャイナ鬼」が節分行事の日によってきました。
ギャル鬼は「今年はみんなケンカしないで仲良く楽しもうアゲー↑↑」と仲良し宣言をし、「鬼はウチ★福はアゲー♪」な節分を行いました。



一方ひかり棟には、子分を取られたチャイナ鬼が登場! 大きな扇子を仰ぎながら、みんなの周りを練り歩いていきます。頑張つて子分の鬼を倒し、無事にチャイナ鬼を追い払うことができました。
皆さんのところにも福が訪れますように♪
(めぐみ棟 保育士 田崎加奈子)



「今日お楽しつひな祭り」

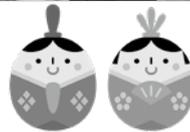
3月1日久山療育園のひかり棟とめぐみ棟では、ひな祭りが開催されました!
今年のひな祭りは、「ひな祭り喫茶!」
みんなで楽しくひな祭りのかわいいケーキとおいしいジュースをいただきます!
病棟を飛び出し、交流ホールへ出発です! ボランティアの皆さんからケーキを受け取ります。皆さんの表情はとってもワクワクしていて、目の前のケーキに夢中になっている様子でした。



病棟に戻る途中、ひな人形と写真を撮ります。お祭りの日にぴったりの素敵な笑顔が見られました。



病棟へ帰ると、みんなでケーキを食べます! 「大きなイチゴから食べようかな?」「それともクリームから食べようかな?」かわいいうケーキを皆さん楽しく食べることができました!



(ひかり棟 保育士 山下莉奈)

2024年度 入所行事予定

4月	12日(金)	イースター	9月	6日(金)	誕生会	12月	18日(水)	入所クリスマス
	26日(金)	誕生会		13日(金)	久山なないろの会	1月	17日(金)	誕生会
5月	24日(金)	誕生会		23日(祝・月)	開園祭	2月	1~7日	節分週間
6月	14日(金)	誕生会	10月	2日(水)	誕生会		21日(金)	誕生会
7月	5日(金)	七夕・誕生会		23日(水)	秋のつどい	3月	1~7日	ひな祭り週間
	17日(水)	夏まつり		24日(木)	秋のつどい		14日(金)	誕生会
	18日(木)	夏まつり	11月	22日(金)	誕生会	※予定は変わることもあります。		
8月	16日(金)	誕生会	12月	6日(金)	誕生会			

めぐみ棟より

「みんなで引つ張り相撲！」

今日はみんなで引つ張り相撲をしました。

いつもは1対1の勝負ですが、今回はなんと1対1対1対1対1対1！！！！！！

なんとこんなに大勢での一発勝負です！

こんなに大勢なのに、勝つのは1人だけ……！！

みんな慎重に、かつ時には大胆に、自分の紙テープを引つ張ります。

テープが干切れると「ああ……！」と悔しそうな声があがります。

優勝した方たちはとてもうれしそう表情でした♪

(めぐみ棟 療育員 栗山真由美)



ひかり棟より

「遅ればせながら、新年あけましておめでとうございませう！」

2024年が始まりました！皆さん、今年はどうな一年にしていきたいですか？

ひかり棟では、毎年恒例となる、お正月遊びを開催しました。

書初めや凧あげ、福笑いに獅子舞、こまを回したり、今年の干支“辰”と写真を撮ったりとお正月にまつわる遊びをたくさんしました。

中でも今年の書初めはとても個性豊かで色とりどりの作品が集まりました。大好きなものを書いたり、今年の抱負を書いたり…。

皆さんの思いがたくさん詰まった楽しい書初めとなりました。

みなさんの笑顔が溢れる一年になりますように…。

(ひかり棟 保育士 山下莉奈)

書き初め



通所で頑張っています



この花束とケーキは利用者さんと作りました



色紙と花束のプレゼント



午後の活動では皆で手品を披露



いい笑顔♪
おめでとうございます！

「2023年度 通所成人式」

4年に1度のうるう年である2月29日。通所成人式が行われました。活動の中で作った色鮮やかな花束や大きなケーキ、午後の部では練習を重ねた手品を披露するなど、皆さんと一緒に祝いすることができとても温かな気持ちになりました。スーツがばっちりキマッていい笑顔です♪これからも楽しく活動していきましょうね。

成人、おめでとうございます！

(通所 介護福祉士 平山 咲)

2024年度 通所行事予定

4月2日(火)	始園式	10月11日(金)	災害避難訓練
6月3日(月)~7日(金)	運動会活動	12月20日(金)	クリスマス会
8月5日(月)~9日(金)	夏祭り活動	2月28日(金)	成人式

○予定は変わることもあります○感染状況によってクリスマス会は活動内で行うこともあります。



療外
育来

宇
そ
宙



新聞遊びで紙をビリビリ...
新聞のお風呂に入ったよ



サンタと一緒に
ごろりんアート
雪が降ってきたよ



お正月遊び
だるまさんに手形を押したよ

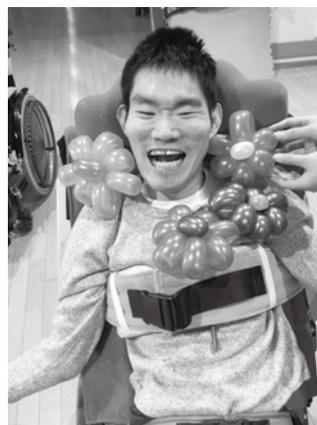
重症者ホームひさやまより

「ホームの活動紹介」

今回はホームの活動の取り組みについてご紹介したいと思います。ホームの利用者さんは月々金曜日まで通所を利用して療育に参加されています。残りの土・日・祝はホームでの活動となります。ホームでは月2回の音楽療法を外部の講師を招いて実施しています。優しい音楽に包まれたお部屋の中で楽器を使って自己表現を楽しまれています。



また、午後からは30分〜1時間を使って、映画上映・コーヒー活動・ペランダでの園芸活動(トマト・白菜・レタス・ラディッシュ・ブロッコリー等)・マッサージ・季節の飾り付け・おやつクッキング・絵本活動などです。



さらに職員の特技を生かしたパルーンアート活動や楽器活動など様々な取り組みをしています。

活動自体は自由参加でお部屋でゆっくりしたい方、テレビを見たい方、自分の番だけ参加したい方など気持ちよく参加できるようにしています。また、開設祭・ハロウィン・クリスマスなど大きな行事も行っています。今後はコロナも落ち着きつつあるので外出や地域のお祭り、園外活動など社会とのつながりを持てる活動にも力を入れていきたいです。



(重症者ホーム 介護福祉士 原田太一)

「外出活動ご報告」

昨年度は、コロナ禍でも1人1回ずつの外出を行いました。

2月15日に入居者1名と外出しました。行先は、おばあちゃんの家へ決定!!家族と事前に話し合い、北九州の家まで車に乗って行きました。車に乗るとわくわくした表情で目をキラキラさせていました。しかし、外の天気は霧雨が降っておりあまりよくありませんでした。

しかし、車の揺れが心地よくウトウトされていました。北九州の家に到着すると家の前でおばあちゃんが待っていました。おうちの中に入ると周りをキョロキョロして何か確かめており、おばあちゃんと楽しい時間を過ごされたようです。時間になり、お迎えに行くという表情をされていました。

帰りは土砂降りの雨の中帰路につきました。もちろん帰りの車でもウトウトされていました。また、外出して会いに行きましょう。

2月19日にグループホームの利用者さん2名と職員2名で外にお出かけしました。1週間前から天気予報を見てみると雨予報でしたが、当日は大丈夫だろうと思っていたところ、天気予報が大当たりでしかも大雨でした。後から聞くと春一番だったみたいです。風と雨がとても凄かったです。

雨の中、車に乗ると雨の為、視界も悪くドライブレコーダーもあまり楽しめませ

んでしたが、久しぶりのお出かけなので天気など全然関係無く利用者さんは大はしゃぎでした。車が発車すると嬉しさをあまりに発声し車椅子のテーブルを叩いて喜んでいました。買い物で近くのお店に行く嬉しさに近くに近づくの品物を手に取る様子がありました。買い物をして次のお店で昼食を買い、車に乗り移動して色んなお店を散策して決めたのがステーキ弁当でした。お弁当をグループホームに持ち帰り食べました。美味しかったのでしよう。ペロリと完食していました。又、「お出かけしましょうね」と声掛けするとニコニコ笑顔で答えてくれました。この笑顔を見ると毎日でもお出かけしたくなります。

(重症者ホーム 介護福祉士 土居慎太郎、前田香織)



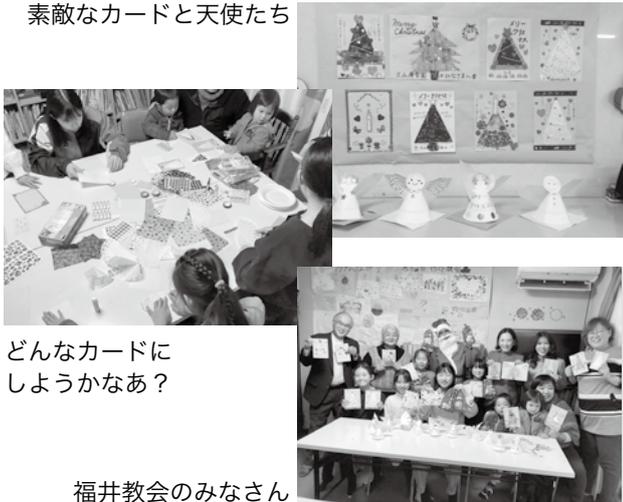
「クリスマスの素敵つながり」

2022年のクリスマス、福井教会の皆さんからクリスマスカードが届きました。その御礼に利用者が作った1枚のカードを送りました。それから1年後、福井教会の平良民枝さんから1通のメールが届きました。「教会の子どもたちにもっと久山のことを知ってほしい。遠く離れていて会いに行けないから、久山のビデオなどを送ってもらえないか？」と提案がありました。そこで、保育士が編集してくれた入所クリスマス会の動画と利用者からのビデオメッセージを送りました。

「福井教会では、毎年、子どもクリスマスの際に、久山療育園のことを覚えていました。2023年子どもたちやお母さん方は療育園の様子の動画が届いて、いっぺんに久山療育園が身近になりました。ビデオの中の話のやりとりや利用者の笑顔に、子どもたちもそれぞれに考えるところがあったようです。このような機会をいただけることがお母様たちも感謝と喜んでおられました。ひとりの女の子は、動画がほんとに良かったあ〜と言っていました。こんな形で、久山療育園とつながり合えることに感謝でいっぱいです」と平良民枝さんも話されていました。

その後、福井教会の皆さんから手作りの天使とクリスマスカードが久山に届きました。

素敵なカードと天使たち



どんなカードにしようかなあ？

福井教会のみなさん

各病棟の入り口に飾り、利用者や職員もとても嬉しい気持ちになりました。福井教会にいられている藤木純恵さんからのメッセージです。「子どもたちも大人も一生懸命で楽しそうで、どんなのがいいかなって考えたり…療育園の皆さまのことを思いながら作ったクリスマスカードと天使ちゃんです。皆さまに喜んでいただけてとっても嬉しいです！療育園の皆さまにたくさん笑顔と楽しい毎日でありますように、離れていても共に過ごしていきたいましょね。」

遠く離れていてもお互いのことを思い、喜びあえること…これからもこのつながりを大切にしていきたいと思えます。

(前療育指導室長 山田いずみ)

新入職員の皆さん

14名の新しい仲間をお迎えしました。ご紹介いたします。

(入職日・五十音順)



- ① 高尾 可奈女 (看護師 ひかり棟)
- ② 利用者さんのいつもと違う変化や訴えに気付けるよう精進します。
- ③ 長所…前向きな性格です
- ④ 短所…人混みが苦手です
- ⑤ 子を持つ同じ親としての関わりをしていきたいです。大切な利用者さんを大事にお預かりさせていただきたいです。



- ① 佐藤 吉幸 (療育員 重症者ホーム)
- ② 利用者さんの可能性や幸福感に気付けるようになりたいです。
- ③ 長所…ポジティブ思考
- ④ 短所…深く考えすぎる
- ⑤ ご家族の想いを大切に、利用者さんの心に寄り添いたいです。



- ① 重信 圭祐 (看護師 めぐみ棟)
- ② 利用者さんが楽しく過ごせるように頑張りたいです。
- ③ 長所…責任感がある
- ④ 短所…優柔不断
- ⑤ いつも笑顔で明るさを忘れないように関わっていききたいです。



- ① 富永 奈央 (保育士/託児所)
- ② 保護者の方が安心して働ける様、サポートや子どもの目線に合わせた保育を行っていききたいです。
- ③ 長所…元氣、明るいところ
- ④ 短所…気にしないところ
- ⑤ 子どもの成長を保護者の方と一緒に喜んでいきたいです。また、保護者の方に安心感を持ってもらえるよう信頼関係を築きたいです。

- ① 名前・職名・部門配置
- ② 久山療育園で働くことについての抱負
- ③ 長所・短所
- ④ 利用者の方や家族とどのように関わりたいですか？



- ①上原 美紅
(作業療法士 リハビリテーション課)
- ②利用者さんの笑顔をたくさん引き出せるような関わり方が出来るように頑張ります。
- ③長所…よく笑うところ
短所…おおざっぱなところ
- ④利用者さんのより快適な生活を目指して、利用者さんとご家族の方の気持ちに寄り添った支援を行っていききたいです。



- ①末廣 夏希
(理学療法士 リハビリテーション課)
- ②利用者さんやご家族に寄り添える理学療法士になれるように頑張ります。
- ③長所…根気強いところ
短所…頑固なところ
- ④利用者さんやご家族がより楽しく充実した生活を送ることが出来るような関わり方をしたいです。



- ①岡本 翔平
(理学療法士 リハビリテーション課)
- ②利用者さんから頼られる存在になりたいです。
- ③長所…聞き上手だと思います
短所…緊張しがちです
- ④出来るだけ要望に応えることが出来るように訓練していききたいです。



- ①内田 茉洗 (看護師 ひかり棟)
- ②利用者の方と笑顔で楽しい毎日を送れるように頑張りたいです。
- ③長所…集中力があるところ
短所…マイペースなところ
- ④利用者や家族に寄り添って一緒に悩み、したいことを解決していききたいです。



- ①内田 千尋
(作業療法士、リハビリテーション課)
- ②利用者さんが笑顔で安心できる毎日を送ることが出来るように頑張ります。
- ③長所…ポジティブ思考
短所…緊張しやすい
- ④利用者さんやそのご家族の本当の気持ちに気付くことが出来る関わりを持ち、その気持ちに寄り添った支援を行っていききたいです。



- ①松北 江末
(言語聴覚士、リハビリテーション課)
- ②利用者様に寄り添った支援が出来るように頑張ります。
- ③長所…笑顔でのコミュニケーションを心掛けています
短所…心配性なので事前準備をしっかりしたいです
- ④ご家族のお話を積極的に伺うことや、利用者様の反応や表情などの変化を早く覚えてコミュニケーションをとっていききたいです。



- ①梅野 有花 (相談支援員、相談支援室)
- ②利用者様、ご家族が安心して穏やかな日常を送れるようサポートしたいです。
- ③長所…焦らない
短所…深く考えない
- ④日常生活での不安が軽減できるようにしっかりと傾聴し、希望される日々を過ごすことが叶うように共に歩んで行ける関わりを持ちたいです。



- ①安部 小百合 (事務員、事務部)
- ②間違えないようチェックし、一日の仕事をきちんとやり遂げる。
- ③長所…辛抱強い
短所…のんびりしている
- ④相手の立場に立って接したいです。



- ①民井 彩加 (介護福祉士、ひかり棟)
- ②利用者さん一人一人に寄り添い笑顔溢れる日常を送れるよう頑張ります。
- ③長所…明るいところ
短所…心配性
- ④笑顔を忘れず、利用者・家族に寄り添った支援をしていききたいです。



- ①梅野 有花 (相談支援員、相談支援室)
- ②利用者様、ご家族が安心して穏やかな日常を送れるようサポートしたいです。
- ③長所…焦らない
短所…深く考えない
- ④日常生活での不安が軽減できるようにしっかりと傾聴し、希望される日々を過ごすことが叶うように共に歩んで行ける関わりを持ちたいです。



ご協力ありがとうございました

(2023年12月1日〜2024年2月29日) 敬称略

【法人】 一般献金

NPO法人障がい者の自立を考える会「ほし」北村久美子、愛知新生キリスト教会、愛の国保育園・こひつじ保育園、青山学院初等部 青山学院中等部、安部聖子、阿部直子、飯田節子、石垣幸枝、伊集院幼稚園、市川幼稚園ひかりの家学園、伊都キリスト教会、糸島聖書集会、上田千枝、宇美キリスト教会、梅崎正広、梅田淳子、嬉野キリスト教会、大久保バプテスト教会、大鶴敬治、大牟田バプテスト教会、大牟田フレンドシップキリスト教会、かたえキリスト教会、(学) 西南女学院、(学) 大牟田バプテスト学園、(学) 西南学院、(学) 福岡女学院、(学) 汀幼稚園、(学) 光の丘幼稚園、(学) 弥生幼稚園、金井敏男、(株)三好不動産代表取締役三好修、(株)ロジテム九州、関西学院宗教活動委員会、企救バプテスト教会、菊池孝子、菊池直樹、北白川いずみ保育園、木戸美沙、木下由紀子、教会と青少年委員会、草苑幼稚園、恵泉バプテスト教会、神戸ホスピタリティ、郡山コスモス通り教会、小林八重子、こひつじ幼稚園、在日大韓基督教会博多教会、在日大韓基督教会福岡中央教会、坂口繁和相模中央キリスト教会、篠栗キリスト教会、品川バプテスト教会、柴田公文、(宗) 日本基督教団福岡城東橋教会、白垣充子、神愛幼稚園、周船寺第二幼稚園、周船寺幼稚園、西

南学院高等学校生徒会、西南学院中学校・高等学校、西南学院中学校・高等学校後援会母の会、西南学院バプテスト教会、西南学院バプテスト教会兄弟会、西南学院大学短期大学部付属シオン山幼稚園保護者会、西南女学院中学校・高等学校、西南女学院南教会、日本キリスト教会房総君津教会、日本キリスト教団東郷教会、日本キリスト教団東村山教会、日本基督教団八幡西教会、日本バプテスト伊集院キリスト教会、日本バプテストシオン山教会、日本バプテスト鹿児島基督教会、日本バプテストキリスト教団目白ヶ丘教会、日本バプテスト女性連合、日本バプテスト仙台基督教会、日本バプテスト東熊本キリスト教会、日本バプテスト連盟諫早キリスト教会、日本バプテスト連盟北九州キリスト教会、日本バプテスト連盟豊橋キリスト教会、日本バプテスト連盟瑞穂キリスト教会、日本バプテスト連盟旭川東光キリスト教会、野方キリスト教会、波多野陽子、八王子めじろ台

バプテスト教会、花野井バプテスト教会、バプテスト東福岡教会、東福岡幼稚園、光の子幼稚園、久山療育園手作品売上、平尾バプテスト教会、深見達弥、福岡教会コイノニアの会、福岡市民クリスマス実行委員会、福岡城西キリスト教会、福岡女学院幼稚園、福岡女学院看護大学宗教部、福岡女学院中学校・高等学校、福岡西部バプテスト教会、福岡中部教会婦人会、福岡中部教会付属養巴幼稚園福岡友の会、福岡南キリスト伝道所、福田靖、二日市栄光キリスト教会、三島バプテスト教会、宮崎バプテスト教会女性会、茗荷谷キリスト教会、明治学院高等学校、めぐみのその幼稚園、矢野和美、八幡バプテスト教会、山形南部教会婦人会、山口正夫、山崎工、山本三佳、百合丘めぐみ幼稚園、横溝玲子、立教女学院キリスト教センター、霊水キリスト教会、若松バプテスト教会

(以上3, 150, 423円)

【重症者ホーム】 一般献金

自動販売機売上献金、鷗友学園女子中学高等学校奉仕委員会、折尾愛真高等学校看護専攻科学友会、神代曉宏、古賀バプテスト教会、重症者ホームひさやま家族会、匿名、中根史子、橋本治光、久山療育園献金箱、又野洋子

(以上3, 253, 226円)

【施設】 一般献金

あかし幼稚園、厚木幼稚園、後山敦子、市川八幡キリスト教会、井上安子、ウエスレアン・ホームリネス教団福岡エルシオン教会、大原信幸、(学) 三育学院東京三育小学校、高知伊勢崎キリスト教会、古賀和男、後藤香織、鮫島経男、新藤賢恵、佐知子、清星幼稚園、清星幼稚園保護者会、西南学院舞鶴幼稚園、高瀬孝介、多田歩南、立石有梨佳、田中節子・由美、日本キリスト教団長崎銀屋町教会、日本バプテスト小倉キリスト教会、花原章二、早川美美子、伴敦子、久山療育

園保護者会、平野幸枝、福田さとみ、船附啓二、松尾国利、松尾貴光・勇一、宮崎信義、村津俊博、森永清治、安井江、梁瀬ゆかり、横溝俊之

献品

大井バプテスト教会女性会(タオルエプロン)、くぼらコーポレーション(タリスマスケーキ)、古賀バプテスト教会(タオル)、児湯キリスト教会女性会(タオル他)、相模中央キリスト教会(枕カバー)、支援センターこころ(キャベツ)、東洋羽毛九州販売(羽毛まくら)、野方キリスト教会(タオル)、野田正紀(冷蔵庫他)、福岡丸本(タリスマスケーキ)、村津俊博(DVD)、山崎製パン従業員組合福岡支部(タリスマスケーキ)、匿名(りんご)、ロジテム九州(タリスマスケーキ)

(以上0円)

献金申込先

- 《郵送》
社会福祉法人 バプテスト心身障害児(者)を守る会
〒811-2501 福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869 久山療育園重症児者医療療育センター内 ☎(092) 976-2281(代)
- 《郵便振込》 郵便振替【01720-8-24404】
名義：バプテスト心身障害者を守る会
- 《銀行振込》 西日本シティ銀行久山支店 普 71888
名義：バプテスト心身障害児(者)を守る会
理事長 宮崎信義
- 《ホームページ》当センターホームページから、クレジットカードによる寄付が可能となっています。「寄付金のお願い」より開いてください。また、郵便局振込用紙もパソコン画面よりダウンロードすることができますのでご利用ください。
個人、会社共に免税の対象になります。
メール：hisayama@hisayama-smid.jp クレジット献金は
こちら→





福音の窓

藤田 英彦

任破廉恥の脱税行為とも言うべき政治資金規正法の無視行為。安倍前政権に追従する岸田政権の殺傷能力を有する敵基地攻撃保有と続き、防衛費倍増予算が計上されています。

更に看過出来ないのは、昨今、陸上、海上の自衛隊幹部を含む、軍服姿の隊員が隊列を組み、白昼堂々九段の門正面から靖国神社へ参拝しています。先に敗戦直後明治以来、「靖国神社」は、天皇制軍国主義の核である「天皇ノ名ニヨツテ、才國ノ爲ニ戦死シタ者」を、(現人神である)「天皇ヲ拜ム神社」として、GHQから「神社庁」と共に、国営化を剥奪されることは必定でした。しかし、巧妙にもいち早く察知した「靖国神社」は、

自分の方から、「国家護持」を否定し、民間一般の「宗教法人」として、1946年から承認されています。戦中、現人神います天皇の名で家族、職場と別れて戦場に赴いた将兵たちは、互いに「死んだら靖国で会おう」と約し戦死した兵の遺族が遺族会に入り、その後、厚生省と忠実親切自治体職員から正式に軍人恩給と戦没者慰霊金の支給を受けた遺族たちは、遺族会一部から「日本のお国の現人神で在らせられる天皇様が靖国神社で拝んで下さる」と聞き、戦前

帰郷して喜んだのは当然と言えます。この年は、新年の能登の震災から「命」を脅かす闇の事件が次々と起こり戸惑う日々が続いています。続く対ウクライナ戦争においてロシアのモスクワで約1300人を超す殺害のテロ事件が起こり、ユダヤ人の国イストラエルは、ガザ地区で幼児、婦女を巻き込む無差別攻撃を行っています。国内では、集団的自衛権行使容認を強行に踏み込んだ安倍晋三前政権の無責

す。「自衛隊と靖国参拝「耕論」が3月20日、朝日新聞に出ました。「憲法改正」齋藤小百合、恵泉女子大学教授「空洞化が進む20条と9条」「哲学者」高橋哲也、東大教授「断てない戦前と連続性」「自衛隊」守屋武元員、元防衛事務次官「殉職者追悼する形義論を」

齋藤 日本国憲法の制定には、旧体制と決別する意味がありました。自衛隊員の靖国神社への集団参拝から感じるのは、旧体制が復活しようとしているのではないかと強い危惧です。国家神道を解体した20条と、軍隊を解体した9条は、自由を確保する基盤です。「神々がよみがえる時、憲法がたそがれる」。そう思つてなりません。

高橋 台湾有事での「戦う覚悟」を迫る政治家の発言。例えば、陸上自衛隊の元幕僚長が昨年、「日本会議」の機関紙に「国家の慰霊施設としての靖国神社復活を願う」という文章を発表しました。「近い将来、我が国は一命を捧げる覚悟のある自衛官たちの処遇にどう応えるつもりなのか」と問い、靖国神社の施設にどのように訴えたのです。

今、問われているのは、戦後二度と戦争をしないと誓ったはずの日本が、靖国も含めてこのまま「戦争準備」を進めて、日米同盟のもとで本当に戦争するのかがどうかということです。

街頭募金にご参加ください!

2月の街頭募金は、6名が天神の寒い路頭に2時間立って、集まった金額は3,183円でした。私たちはもう50年以上この活動を行っています。重症児者と共に生きる「ミットレーベン・ネットワーク」の、「ミットレーベン」とは、ドイツ語の「Mitte」から来ています。「ネットワーク」の前身である旧「バプテストコロニー友の会」の第2代目会長村上寅次による「共に生きる」のドイツ語訳命名です。



職員の異動

(2024/1/15/4/1)

- 【採用】
- 1/1付 高橋 裕子(看護師)
- 2/1付 橋本 元氣(療育員)
- 3/1付 富永 奈央(保育士)
- 3/1付 重信 圭祐(看護師)
- 3/18付 佐藤 吉幸(療育員)
- 4/1付 内田 茉光(看護師)
- ▽高尾可奈女(看護師)
- ▽岡本 翔平(理学療法士)
- ▽末廣 夏希(理学療法士)
- ▽上原 美紅(作業療法士)
- ▽内田 千尋(作業療法士)
- ▽松北 江末(言語聴覚士)
- ▽貝原 柊希(介護福祉士)
- ▽民井 彩加(介護福祉士)
- ▽梅野 有花(相談支援員)
- ▽安部小百合(事務員)
- ▽小泉 建太(看護師)
- 2/29付 宜保 深里(看護師)
- ▽時松 将廣(看護師)
- ▽橋本 美香(看護師)
- 3/14付 城島 洋子(看護師)
- 3/31付 野田 正紀(小児科部長)
- ▽山田いずみ(療育指導室長)
- ▽金子 華慧(理学療法士)
- ▽石橋 哲弥(介護福祉士)
- ▽杉田 杏奈(管理栄養士)
- ▽柴田 玲子(保育補助)

ボランティアだより

「令和5年度ボランティア活動の振り返り」

2023年6月12日(月)から10:30~15:00までの通常時間での受け入れに変更になり、少しずつではありますが、ボランティア活動が通常に戻りつつあります。

また、食事場所の制限や入所者との関わり等において、制限はありますが、現在は、通所、グループホーム利用者との午前中の関わりまでは可能となっております。



3月1日(金)の喫茶活動では、パーテーション越しではありますが、入所利用者者にひな祭りのケーキを手渡ししていただく機会を設けました。その際の利用者、ボランティアの方々の笑顔がとても印象に残っています。

今年度も引き続き、感染状況を見ながらですが、少しずつボランティアと利用者の触れ合いの機会を持てていければと思います。

昨年年度は、53名のボランティアの来園があり、主に洗濯物たたみ、裁縫、制作物作成等の作業を行っていただき、非常にありがたき感謝の言葉しかありません。ボランティア委員会の目標でもある「ボランティアの方々のつながりを持ち続ける」「ボランティアの方々にこれまでの感謝を伝える」ということに向かって、至らぬ点もあつたと思ひますが達成できたのではないかと考えています。

【専用メールアドレス】
 ボランティアに関するお問い合わせの方法として、専用メールがございます。
 「興味があるけど、どんなことするのか心配…」
 「行ってみたいけど、手続きは？」など、いつでもご質問いただけるようになっています。
 お気軽にご利用ください。
bora@hisayama-smid.jp

たが、ここも継続して、もう一つの目標でもある「ボランティア活動の継続・新規活動者の開拓」に向けて前に進んでいきたいと考えます。
 1年間、ありがとうございました。
 2024年度も、ボランティアの方々の触れ合いを大切にしていけるように取り組んでまいりますのでご協力をよろしくお願いします。
 最後に昨年度、ボランティア登録の更新を行いました。登録の更新にあたり、未返答の方につきましても、今年度のボランティア保険を更新しておりますので、安心してご来園ください。
 (ボランティア委員長 島津洋昭)

歩 行 器

先日、例年行われている療育体験研究発表会が開催され、その後、九州地区重症・心身障害研究会が福岡で開催されました。

九州の各施設から創意工夫を重ねた研究発表があり、重症児者の生活、特に日常の生活動作一つ一つに着目し、少しでも快適に過ごせる様に改善や工夫の余地はないか、また専門職として身に付けておくべき知識や技術は無いか等、多岐にわたつての発表でした。ただ日々の生活を支障なく漫然と過ごしていくよりも、新しいことに関心を持ち、興味を持って取り組んでいくこそ成長の第一歩なのだと思ひました。そして、こうした研鑽が積み重なり、障害児者にとって少しでも快適な状態へ近づいていく支えとなつていのだと強く感じました。

今年はいースターを例年より早く3月末に迎えました。日本ではあまりなじみはありませんが、キリストの復活を祝い、春の到来を心から喜んで迎えたいと思ひます。しかし、今の日本列島は地震が頻発するなど、久山療育園でも災害に備えた体制作りが求められます。災害時にどこまでご利用者の

の生活を守ることができるか、また地域災害にどれほど貢献できるかなど、検討を重ねる中から様々な課題がみえてきます。施設単独では限界もあり、皆様のご協力ご支援を頂きながら、備えを進めていければと考えています。本誌「愛の手を」を通じて、お願いをさせて頂くこともあるかと存じます。どうぞ、よろしくお願い致します。
 新型コロナウイルスへの対策がまだまだ続いており、制約もある中ですが、2024年度の歩みが日々守られますよう、心よりお祈り申し上げます。
 (T・N)

重症心身障害施設 久山療育園ホームページ
<http://hisayama-smid.jp/>

求人情報